

平成25年度第7回鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日時 平成25年8月30日(金)
開始 13:30
終了 17:30
- 2 場所 鹿島区役所 大会議室

1 開会

■事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】14名

澤田一夫、五賀和雄、鈴木直門、松野豊喜、和泉ひで子、西 道典、荒邦夫、
西 文子、郡俊彦、鈴木貞正、早川孝雄、前田典郎、立谷ちず子、大塚悦子

【欠席委員名】1名

折笠寛昭

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2. 会長あいさつ

3. 区役所長あいさつ

地域の現状について。

- ・津波被災のあった北右田、南右田の共同墓地を整備し、共用開始している。
- ・帰還促進のための仮設住宅の使用について県から許可が下りたため、9月1日から申し込みを開始。合計124戸（鹿島区は41戸）。
- ・災害公営住宅は西川原地区で建設を進めている。
- ・集団移転においては、寺内2カ所、上寺内1カ所で現在、用地取得の手続を進めている。
- ・生活圏の除染は、上柵窪で仮置き場の造成と並行して、9月から生活圏の除染に入ることによって進めている。
- ・農地除染については、モニタリングの進捗率が面積ベースでちょうど50%。山際の比較的線量の高い部分について、モニタリングが完了したということ。近く除染の作業を行う。

今後、住宅関係、除染関係で順次、現場は動いていく。遅滞なく進めていきたい。

4. 議事録署名人の指名

ー澤田会長が、議事録署名人に和泉ひで子委員と西道典委員を指名する。ー

5. 議事

(1) 報告事項

①平成25年度 9月補正予算について

■地域振興課長

ー資料により説明ー

○早川委員

・新規事業「繁殖経営基盤再生推進事業補助金」

ー一時的でなく、継続することによって効果が現れるものと思われる。

■産業建設課長

とりあえず単年度事業であるが、継続するよう県に働きかけていきたい。

○早川委員

・新規事業3「ふくしま森林再生事業」

森林の除染は可能なのか。空間の線量は1年間にどのくらい低下すると試算しているか。

■産業建設課長

今回は除染計画を作成するための調査であり、除染作業ではない。調査結果をもとに一定程度の線量以下にしていく。

○西(文)委員

・増額補正事業5「鳥獣被害防止緊急対策事業」

昨年の実績はどうか。

■産業建設課長

昨年実績サル38頭、イノシシ49頭であった。

○鈴木(貞)委員

・増額補正5「鳥獣被害防止緊急対策事業」

実態は、年々酷くなっているようだ。猟友会の方々に縄張り意識のようなものがあり、捕獲できるものもできず、その間に被害が拡大している。

■産業建設課長

鹿島区は小高区、原町区と比べて積極的に捕獲している。奨励金の効果があると思われる。

○松野委員

・新規事業4「真野小学校閉校記念事業補助金」

総額250万円のうち120万円の補助ということであるが、全体の支出の内訳はどうか。

■地域振興課長

実行委員会では、式典に 10 万円、記念誌発行に 55 万 6,000 円、記念碑代として 90 万円、記念品として 81 万円、事務費、予備費含めて 13 万 4,000 円を教育委員会に予算要求している。差額については、寄附を募ると聞いている。

○郡委員

・増額補正事業 4 「福島県営農再開支援事業補助金」

「交差汚染対策」の内容と費用について。

■産業建設課長

「交差汚染対策」は、コンバインやカントリーエレベーターなどの清掃に米を使うため、その損料の補てん。115戸で230万円。

②わんぱくキッズ育成施設の設置について

■事務局

－資料により説明－

○和泉委員

体力の低下、肥満傾向の拡大について、県内の状況はどうか。

■事務局

－資料配布により説明－

○前田委員

施設の耐久性はどうか。

■地域振興課長

耐用年数は 15 年である。

○早川委員

鹿島区にもぜひ、鹿島体育館等に合わせた施設で設置できないか。

■区役所長

子どもの遊び場は体育施設と併用したものではなく、専用の施設となる。土地の確保が可能であれば、こういった施設整備を進めていきたい。

○荒委員

鹿島区にもこういった施設を設置していただくよう要望したい。

■区役所長

南相馬市では子どもたちの現状から、3区に1カ所ずつ必要だという考えである。

鹿島区もかなりの場所を探した経過があり、桜平山公園なども検討したが、都市公園法の規制で思うような施設にならないということで断念した。

親御さんたちが容易に集まれる場所など、PTAからの要望に沿った場所を確保することが、この施設整備の一番の課題だと認識している。

○郡委員

都市公園の廃止を決めることは絶対にできないことなのかどうか。

■産業建設課長

法に基づき都市公園を廃止することは可能であるが、せっかく都市公園として供用している状況でありながら廃止することはいかがなものかと考える。

○郡委員

都市公園として土地をそのまま置くよりも有効な利用方法があると考えた場合には、廃止についても検討してはどうか。

○澤田会長

鹿島区に整備する考えがあるならば、経過も含め、担当課から我々に示していただかないと不満が募る。

○西(道)委員

高見公園はもともと市のもので、NPOがそれを借りて除染も含め民間で行った。

そういう意味で、市だけに任せておけないという考えを原町区は持っていたというのは間違いない。

来年度までに完成する予算のため、今から場所を整備するのでは遅いということで、鹿島体育館の下の部分に設けるために、体育館を2階建てにしてほしいと要望した経過がある。

しかし、いつまでも場所が決まらなると予算はなくなってしまう。

○郡委員

さやの前公園や桜平山公園の造成が26年度までに間に合わないのかどうかといった検討を区役所と一緒に具体的に我々で進め、結論を見出せる方向に早く取り組む必要があるのではないか。

(2) 協議事項

1) 区地域ビジョンの策定について

■事務局

まちづくり委員会「市で取り組むべき課題、要望」としてまとめたもの、地域協議会委員の皆さんから挙げられた「課題、要望」を事務局で仮に8つの項目で囲った。

皆さんに点検していただきながら、項目の調整をしていきたいと思う。

○澤田会長

まず「地域再生」の課題・要望・方向性から、検討していただく。

○西(道)委員

川原で犬の散歩をするため、排泄物が多く、子どもたちが川原で寝そべったり、転がったりといった遊びができない。ドイツでは町で犬の教育を行っている。お店に入ったり、公共のバスに乗れるようにと取り組んでいる町がある。

鹿島区全体でも、動物と共生できるまち、新たな宅地として、この辺りにはない素晴らしい町だとアピールできるのではないかと。

○澤田会長

先週、静岡の新東名でSAを3カ所見てきたが、ドッグランがあるなど素晴らしかった。最近では犬と一緒に来れるSAでなければ、人気がないそうである。

○前田委員

① 定住人口の確保

1) ジンバ山に広大な敷地があるのか。

③昔からある行事の復活

3) 敬老会を上真野地区では9月8日に予定しているが、他の3地区の実施状況は。

○郡委員

ジンバ山は、南屋形から永田にかけてある場所で、幹線町道の上の部分のカットすれば、良い団地ができそうである。カットして出た土を、宅地造成あるいは海岸の防災林に利用したほうが良いと考えている。

鹿島区において、人口確保に寄与できるのではないかと八沢地区の声であった。

■地域振興課長

敬老会については現在のところ、八沢地区と上真野地区で予定されている。

○松野委員

①定住人口の確保

3) 高齢者対応を考慮した災害公営住宅建設について、ビジョンに盛り込んだ要望にそった災害公営住宅の建設は可能なのか。

○澤田会長

災害公営住宅の建設は現在進行している事業なので、皆様のご理解のもとに「災害」を省き、高齢者向けの公営住宅の対応として考えたい。

続いて「経済産業」の課題・要望・方向性について、検討していただくこととする。

○前田委員

①農林水産業

1) 6次産業化への取組みは、今年も米が作れない中で難しいのではないのか。

○澤田会長

農商工連携なども同じことで、将来的に長期にわたって付加価値農業も含めた中での取り組みである。今年、来年でという捉え方ではない。

○西(道)委員

②街なか活性化

商工会主催で夜店を開いて子どもを呼び寄せる企画など、もっと充実させた内容にしてはどうか。

○澤田会長

商店街の再生について、一番の問題は後継者がいないこと。商店街の元気を取り戻す努力は続けたい。

○前田委員

復興商店街を見ると、シャッターを下ろしている店舗がある。

○澤田会長

NPOや新規の事業者などで空き店舗を借りたい人はいる。災害に遭った事業所に、無償で仮設店舗を貸す趣旨であるため、基本的には早く再スタートして、一日も早く仮設店舗を出てもらうことを目標としている。

○郡委員

②街なか活性化

商店街だけの問題ではなく、地域社会、地域コミュニティの中心地としての役割がある。高齢社会の中で、お年寄りが日常的に社会参加できる場所として、街なかのスペースをどう確保していくか。デマンド交通含めて、お年寄りがいつも足を運べる場所がある地域にしていく。世代間交流施設を中心街に作る。

○西(道)委員

経済産業復活のためにも、本庁から鹿島区役所に部を持ってくる。昼食の出前などによる飲食店の活性化は大きいと思う。

○澤田会長

街なかの基礎人口が減少している。今回、保育所跡地に、災害公営住宅ができることで、商店活性の弾みになればと期待している。

○荒委員

観光を追加したい。

○澤田会長

観光は重要な産業。震災以降、夏まつりも鮭まつりも開催できない状況。文化財愛好会で神社、寺を調査し、観光で誘導できる要素があると思う。宝蔵寺には、紅葉のシーズンにカメラマンが来る。写真の愛好家にPRしたい。檜原はアカヤシ北限。文献上は高瀬川溪谷だとされている。

○早川委員

鹿島区の特産品、健康増進食品のPRがあると良い。

○澤田会長

つづいて「安全・安心」の課題・要望・方向性について、検討していただく。

○前田委員

海のそばに津波避難ビル（屋上にヘリポート）。

○西(文)委員

安全・安心が確保できないために、若い人が戻ってこない。（復興）①放射性物質による汚染への対応を（安全・安心）に組み入れる。

○西(道)委員

国道6号線の下を三日月不動へくぐって行ける道路を、早急に整備していただきたい。

国道が混雑した際、全く抜ける場所がなくなってしまう状況。特に、鹿島小学校もあるので、6号線を信号機でなく渡れるよう早期に整備していただきたい。

○澤田会長

続いて「保健・医療」の課題・要望・方向性について、検討していただくこととする。

○立谷委員

①住民の健康管理

1) 健康診断、内部被ばく検査、甲状腺検査は現在の状態を調べることで、今後、何十年か後に表れる症状のために健康手帳を要求したい。

○西(文)委員

(保健・医療)と(高齢者・障害者福祉)をまとめる。

○前田委員

鹿島厚生病院を総合病院にしてほしい。

■地域振興課長

鹿島厚生病院だけでなく、市内の病院含め、医師も看護師も不足している状況がある。先日の厚生病院運営委員会において、厚生病院は県内に5～6つあるので、この浜通り地方では不足しているものの、県内の人事異動で対応しつつ、厚生病院でハローワークに依頼するだけではなく、看護学校や専門学校に募集をかけたたり、県の連合会や厚生連でも動いている状況。

○澤田会長

続いて「教育・文化」の課題・要望・方向性について、検討していただくこととする。

○西(文)委員

(子育て・次世代育成)と(教育・文化)をまとめる。

○西(道)委員

土曜教室を地域一体型で行う。

また、鹿島区には児童館がない。共稼ぎの家庭のために6年生までをみる児童館の設置をお願いしたい。

○荒委員

②子供子育て支援を追加。

また、体力向上と肥満児対策を追加してほしい。1)として、施設の確保「わんぱくキッズ」。

○西(道)委員

養護学校誘致について挙げてほしい。

また、小島田の神楽など後継者不足が問題。素晴らしい伝統のある神楽である。

伝統文化を残す教育も、官民一体となって取り組む。

○前田委員

原町区に仮校舎として続けている小高区の高等学校を、鹿島区に持ってくるよう県に

働きかけてほしい。

○澤田会長

要望することは容易だが、場所をどうするか土地の問題を本気で考えないと難しい。

○前田委員

仮設住宅跡地を利用すれば可能ではないか。

○郡委員

鹿島区の場合、用地対策が後手を踏む。内々に確保する姿勢があっても良い。

○郡委員

街なか活性化のために、10年後20年後のことを考え、ある程度費用がかかっても、街なかに公共用地を確保できないか検討しても良いのではないか。

○立谷委員

真野川の土手の活用法。真野川沿いにマラソンコースを整備することで、観光、スポーツ人口の交流につながる。

○澤田会長

真野川は鹿島区の中央を流れ、母なる川であり、昔から川があつての鹿島である。

○荒委員

②7) パークゴルフ場の場所について。

■区役所長

牛島について、緑地広場での復旧は方針として持っている。パークゴルフ場と温泉施設に関しては、区域そのものが災害危険区域のため住宅建設ができない。

また、バックグラウンドの烏崎の集落がないということと、牛島の形状から避難道路を確保することがかなり難しいために断念した。

パークゴルフについては、今、ある程度候補地を絞って、当面は暫定的に、整備に向けた作業を進めている。市内のパークゴルフ協会と愛好会の要望を受け、要望に沿った形でできるだけ整備していきたい。

○澤田会長

続いて「復興」の課題・要望・方向性について、検討していただくこととする。

○郡委員

③賠償・補償、現状は厳しい。

○荒委員

一本松を、生きる力の育成に結び付けたい。

■区役所長

各項目、小項目がある程度まとまってくるなかで、具体的にどういった施策、どういった事業を展開するのか、短期か、中長期なのか話し合っていたらいいと思う。

○澤田会長

ある程度、我々も具体的提案をしながら方向性を示せればと思っている。

協議事項については以上で終了したい。

6. その他

○澤田会長

広報委員の皆さんに「地域協議会だより」をまとめていただいた。全戸に配布したことを報告する。

■事務局

視察研修について、盛岡市玉山区の地域協議会の視察を10月下旬から11月上旬という日程で調整している。視察先と協議して日程を決定したい。

① 次回の協議会日程について

次回の地域協議会は9月11日(水)開催予定。

7. 閉会

以上のとおり、相違ありません。

会 長 澤田 一夫

会議録署名人 和泉ひで子

会議録署名人 西 道典